

魚まち通信

発行責任者 魚まち歩観会
会長 中井 孝佳

- 魚まち新聞目次・・・
- ・トピック
- ・魚まち紹介【松本①】
- ・魚まちあの人、この人
- ・連載(道の思い出)
- ・魚まち郷土資料館
- ・名所を歩く
- ・ながしま井で遊んでみたら?
- ・魚まち語録
- ・昔ながらの漁法・漁具
- ・味自慢
- ・歩観会の活動経過

魚まち郷土資料館



横城須恵器 (町文化財指定)
江の浦の西海岸にある横城古墳から昭和5年に発掘される。高さが50cmと大きく、祭の時に用いられた高杯、又は器台と思われる。

参加者募集

魚まち歩観会では、町づくりを応援して下さる方を募集しています。興味のある方は紀北町役場紀伊長島産業振興課
7-1111
または、中井まで
7-0648
※裏面にこれまでの活動状況や会の紹介をしています。

きほく燈籠祭開催

江之浦湾に浮かぶ巨大燈籠

「街は大賑わい」

7月22日、第20回きほく燈籠祭が開催された。当口は過去最高の来場者、約5万2千人が訪れ、会場の前浜は人だかりで、大いに賑わいを見せた。



紀北町となって初めて開催された「きほく燈籠祭(とうろうまつり)」は「人の和(輪)」というテーマで始まった。燈籠祭最大の見所である燈籠には中国の故事「登竜門伝説」を題材にし、巨大燈籠に「竜」、み

こし型燈籠に『鯉』を製作。町の至る所にも燈籠が並べられ町全体が祭一色に。また数十機にも及ぶ竿灯とみこし型燈籠が露店の間を練り歩きながら行進した際には、多くの人が足を止めシャッターを切る姿を目にし

た。

イベントでは地元の大鼓グループや松阪市で活躍している和楽器演奏グループ「倭(やまと)」そして7月19日にメジャーデビューしたばかりのヒップホップ系ダンスユニット『KAMUI』が参加。『KAMUI』の歌とダンスに合わせた巨大燈籠と花火の演出に、会場は、拍手で溢れた。

再び熊野街道になってい路地が昔の古道である。かつてはここに道標も立っていた。道は新町を経て一路、本町へと続いてゆく。今より、まんぼう陶板を順番にたどる旅。まんぼう陶板はマンボウ型をした陶板製の町名表示板。町名は漢字とローマ字で書かれ、数字は「魚まちマップ」の番号と同じだ。これにより観光客は現在位置を知ったり、番号をたどり目的地に行ける。また効率よく名所の観光コースを歩くことも可能だ。



陶板で魚まち紹介

第1回・松本(まつもと)

魚まちあの人、この人

56年毎日、新鮮な魚を届ける



毎朝7時ごろ、きいながしま魚市場で行われる競り市に、女性の仲買人の姿があります。その中の一人「世古かよ」さんを紹介します。

多いときに50人以上いた行商人ですが、現在は、かよさん一人となりました。雨の日以外、仕入れた魚をリヤカーに積み、町の中を引き売りして歩きます。この仕事を始めて今年で56年になるそうです。

いと、お得意さん同士が「今日は、かよさん、こーへんか?」と聞き合うらしい。毎日、お得意さんを一軒一軒回り、世間話などしながら魚を売る姿は商売というよりも、人とのつながりを大切にしているように見える。

毎日愛用のリヤカーの修理は、全てかよさん自身が行います。「箱打ちでも何でもやるんやな」と笑顔で答えてくれるかよさんは、今ではあまり聞くことのない純粋な長島弁を話す、生粋の長島人です。

魚まちモニターツアー開催

初めてのモニターツアー・・・大阪府四条畷市からようこそ!

6月9日(土)10日(日)にかけ紀北町友好都市の四条畷市からバスで37名が、古道歩きと港市見物に訪れました。魚まちマップ片手に魚まちは散策した後、アンケートに答えてもらいました。マップのみやすさは全員が「良い」か「普通」、情報として食事処や飲食店のおすすり料理を載せてほしいとありました。ガイドについては、いるほうが良いという回答が97%でした。魚まちは散策しての感想は、90%近い方が「良かった」か「普通」でした。もう一度訪れてみたいですかという質問には、87%がはいと答えて下さいました。その他の感想では、「昇降橋が橋の上下をみて感動した」「ゴミが落ちてなくてきれいな町」「町の人があったかい、人情が現れている親切で良い人が多い」など町の人のふれあいに温かみを感じたようです。「魚市場や店先で新鮮な魚や貝を焼いて食べたい」や「これと買って買いたいものがない」という意見もありました。

懐かしの映画館

(植村 岐穂子)

最初に観た映画の記憶が断片的に残っています。深い海が二つに割れて道が出来るシーン私の横でむずかる弟をあやす母の姿、成長してからその映画が「十戒」だったと知りました。当時、長島には四軒の映画館がありました。大洋館は、時代劇や若大将シリーズ「絶唱」愛と死をみつめて」などの青春もの学校の夏休みの推薦映画は主にごこでした。「妖怪百物語」「大魔神」などが面白かった。2本だでの映画を1本しかみないで明日もう1本みせると頼むと半券をくれるなど、おおらかに対応してくれた。◆中州の中劇は、外国映画や東映のアニメが主でした。デイズ二の「シンデレラ」を初めて見たのも中劇です。◆松本にあった長島座は、夏には怪談ものが上映されており通学路に化け猫屋敷や四谷怪談の看板があるとお若さんの顔がみえないように片目を手でおおって走り抜けた。初代ゴジラは今とは比べ物にならないほど怖かった。◆新町の三河屋は、男子生徒の話題にことかきませんでした。高校時代の女友達に高橋英樹ファンがいて親に内緒で「男の紋章」シリーズを親に行った事もありました。◆町民の唯一の娯楽施設である映画館でしたが、テレビの普及に伴い昭和40年代後半ほとんどが閉館し姿を消していきました。